

地域へ世界へ チャレンジを

県内企業トップ、新入社員に訓示

新年度が始まり初めての平日となった3日、県内でも多くの企業が入社式を開いた。「会社の成長を支える存在に」「魅力あふれる人になってほしい」。各社のトップは、人材育成に一層注力する姿勢を強調し、環境の変化が激しい時代の中、さらなる飛躍に向けて新入社員の成長に期待する訓示を述べた。(カッコ内は採用人数)



10月で140周年
広がる可能性
十六銀行

村瀬幸雄頭取

10月1日に創立140周年を迎える大事な年に入社された皆さんには、当事者意識を持って行動し、魅力あふれる人になるため、自ら学ぶ習慣を身に付けて、自己研鑽に励んでほしい。金融環境の変化に伴い、当行とグループの業務は多様化、複雑化、専門化している。皆さんが活躍する地域金融の世界は、可能性が広がっている。これまでの人生で学んだことをベースに、今後、学ぶことを自らの力に変え、成長してほしい。(96人)



失敗を恐れず
挑戦続けよう
岐阜信用金庫

住田裕綱理事長

当金庫は、地域の皆さまに支えられ、ともに歩んできた金融機関だ。今後も地域の中で存在感を示していくためには、地域のために何ができるのかを常に考えて行動することが必要だ。皆さんには、お客さまのニーズに因應するため、幅広い知識の習得と課題解決に導く行動力が求められている。ぜひ、失敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジし続けてほしい。皆さんがこれから力強く成長し、活躍されることを期待している。(83人)



高まる存在感
初心を忘れず
大垣西濃信用金庫

栗田順公理事長

昨年1月に合併し、1年余りが経過した。規模の拡大に伴い、果たすべき役割や責任の重さも増し、存在も一層高まった。全職員が「自ら考え行動する職員」となり、生き生きと働きがいのある職場を目指している。本年度の事業計画のキーワードは「育てる」。自分自身が成長するためには「基本を守る」と「準備を怠らないこと」「挑戦し続けること」が大切。今日の緊張と初心を忘れず、大いに成長し活躍してほしい。(38人)



グローバルな
視点で行動を
イビデン

竹中裕紀社長

政治、経済の変化に加え、IoT、人工知能といった新技術の進化により、私たちの生活も劇的に変化するという時に皆さんは入社した。この世界を生き抜くに当たり、二つの心構えを大切にしてほしい。一つ目は、あらゆる活動を「現地・現物・自掛り」で行うこと。二つ目は、常にグローバルな視点で行動すること。当社は、日本生まれのグローバル企業。日々成長し、世界中で活躍されることを期待する。(94人)



夢と感謝抱き
自分を磨こう
太平洋工業

小川信也社長

グループ全社員が共有する価値観として「PACIFIC VALUES」を策定し、「夢と挑戦」「信頼と感謝」という言葉を掲げた。夢を持ち、何事にも果敢に挑戦してほしい。仕事を通じてお客さまや周囲の方々から信頼を得て、感謝の心を抱き続けてほしい。太平洋の海原が皆さんを待っている。会社人生の中で自分を磨き、時(時間)理(理論)氣(やる気)の「時理氣(自力)」がある人財になってもらいたい。(32人)



ニーズに応え
新たな事業を
大垣共立銀行

土屋嶋頭取

少子高齢化、地域の過疎化が始まる中、OKBとしてどういった方向性で進んでいくのか、一つ一つ考えなければいけない。これまでの業務、業態にとらわれず、われわれは新たな事業、新たなビジネスモデルに取り組んでいかなければいけない。顧客目線、地域とのつながり、世の中のニーズにいかに対応しているかが大事。OKBのDNAを受け継ぎ、新たなサービス業としてOKBブランドを確立していってほしい。(218人)



フレッシュな
旋風を職場に
東濃信用金庫

市原好二理事長

社会人、金融人としてしっかり成長してほしい。金融機関の仕事は直接お客さまと接することができ、多種多様な業種に詳しくなれるので恵まれている。それだけに壁は高いが、壁を乗り越えることで自己実現となり、やりがいや生きがいになる。前向き、外向きにいろいろなことに取り組み、仕事以外でも好奇心を持ち、さまざまな人と交流して「チームとうしん」の一員としてフレッシュな旋風を各職場に巻き起こしてほしい。(40人)



会社を変える
考えを持つ
西濃運輸

神谷正博社長

物流業界は、ドライバー不足、労働環境問題、宅配便の再配達問題などが社会全体の課題となりつつある。これは逆境ではなく、大きなチャンス。当社は「輸送の良循環」をキーワードに取り組み、きたが、これからは限られた戦略を生かす「効率化」へと進化させる。若いころに会社を辞めたいと思った。しかし会社を変えてやろうと気持ちを切り替え続けてきた。皆さんも自分が会社を変えられるという考えで頑張ってください。(142人)



会社の成長を
支える存在に
トーカイ

小野木孝二社長

トーカイグループは今後も「清潔と健康」をテーマに、ヘルスケアと環境という分野でさらなる社会貢献を図っていく。グループの仲間となった皆さんも会社のニーズをしっかりと捉え、ともに会社の成長を支える存在になってほしい。また「仕事は真剣にやるからこそ自分の成長を促し、結果として自信につながる」ということを伝えたい。皆さんにはこの言葉を胸に、ぜひ仕事に対して真面目から真剣に向き合ってください。(141人)



自己実現図り
仕事に誇りを
レシップHD

杉本眞社長

会社に就職するのは、そこでの仕事を通じて自分の素質や能力を発展させ、自分をより高める自己実現を図ることだ。自分で選択した会社、仕事ならば、仕事の内容や出来栄に誇りを持たないものだ。レシップグループの私たちは、光・電力の私たちは、光・電力変換・情報処理のビジネスの分野で、お客さまに対して誇りを持って商品やシステム、サービスを提供することが重要で、グループの一員として精いっぱい努力してほしい。(13人)